

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
1	滋賀県	米原市	1	米原駅周辺地域におけるコンパクトシティ形成と中山間地域における小さな拠点の形成およびネットワーク化に関する取組を重点的に推進すること。	P28 P29	⑤ ⑥	「地方都市活力アッププロジェクト」のコンパクトシティ化による地方都市活性化事業、誰もがいきいきと住み続けられる地方のまちづくり事業に関する事項 「農山漁村いきいきプロジェクト」の小さな拠点の形成事業、農山漁村をいきいきさせるネットワーク形成事業に関する事項	米原市においては、人口減少対策が喫緊の課題となっており、まちひとしごと創生総合戦略を策定し、その克服に関する各種取り組みを進めている。なかでも、関西の玄関口であり、北陸、中京の各圏域との結節点でもある米原駅周辺において都市機能(公共施設、商業等)の充実に向けた取り組みを進めている。この取り組みが広域の観点から重点的に推進されることにより、地方都市間の連携や、京阪神、北陸、中京の各圏域との繋がりを強化する効果が高まることが期待される。また過疎化が進む中山間地域に小さな拠点を形成し、これらとネットワーク化することにより、持続可能な地域社会を構築し、地域資源の維持や国土の保全の効果が高まることが期待される。	2部2-3-2. (2)①及び3部3-5. (1)①に趣旨は反映済みである。
2	和歌山県	広川町	1	～、津波が急襲する地域においては、少なくとも命を守る事を大前提とした避難対策をハード・ソフト面で進める。特に三陸地方に伝わる「津波てんでんこ」や和歌山県広川町の「稲むらの火」などの津浪防災に関わる言い伝えや古事を題材とした防災教育の充実と防災文化の醸成を推進することで、防災意識を地域に根付かせる。	13			和歌山県広川町では、濱口梧陵翁が安政の津波が発生したとき、稲むらに火を放ち村人を避難させたという古事があり、その濱口梧陵の偉業を代々言い伝え顕彰することで、町民の津波に対する防災意識を高め、地域に独自の防災文化を醸成することで、津波防災対策をハード・ソフト面で推進をしている。	2部2-4-2. (2)④に「また、自助・共助の観点に立ち、防災訓練とともに防災教育の充実を図る上で、11月5日を「世界津波の日」に制定される由来となった安政南海地震に纏わる逸話「稲むらの火」(和歌山県広川町)の伝承や「阪神・淡路大震災」などの教訓を次世代に継承し、災害に対する意識の継続と知識の向上を図り、世界に貢献していく。」として趣旨を反映

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
3	滋賀県	多賀町	1	広域観光周遊ルートの連携を行うことにより、周遊ルートの多様性を生み出し、更なるインバウンドの促進を図る。	24	7	「③歴史・文化・おもてなしプロジェクト」の(2)に関する事項	多賀町では、地方創生の柱として、外国人観光客の誘客に積極的に取り組んでいる。この取り組みに加えて、滋賀と三重を繋ぐルートを形成することにより、日本海と太平洋を最短距離で結ぶルートになることから、エメラルドルートと昇龍道ルートの連携が容易になり、更なるインバウンドの促進が期待される。	2部2-2-2. (2)③に趣旨は反映済み。 3部3-3. (2)①に「京都・大阪から近畿の北部、南部への呼び込みを目指す「美の伝説」のほか、「せとうち・海の道」や「昇龍道」等の広域観光周遊ルートの形成を図るため、舞鶴若狭自動車道、京都縦貫自動車道、近畿自動車道紀勢線等の高速道路網を活用、延伸により、関西が誇る数多くの世界遺産や重要文化財等を結ぶ周遊観光ルートの形成を促進する。特に、豊富な歴史遺産や絶景、食文化等を活用し、東アジア及び東南アジアや、欧米系リピーターからの誘客を図る。」として趣旨を反映。 3部3-3. (2)②に「瀬戸内海観光連携推進会議での取組により、瀬戸内海の観光振興と沿岸地域の活性化に向け、瀬戸内海を囲む関西から九州までの各圏域が連携し、映像などを用いた魅力発信や、西日本広域観光ルート(エメラルドルート)などの観光周遊モデルコースの設定・宣伝、クルーズ客船の誘致を進めるとともに、観光旅行者受入地におけるおもてなし気運の醸成を図る。」として趣旨を反映。

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
4	滋賀県	多賀町	2	学校と地域の連携を高め、小学校を核とした地域づくりやICT教育の推進、高校までの就学過程における通学支援や学びの場の確保により、子育て世代の移住希望者を増加させ周辺集落の維持を図る。	29	15	「⑥農山漁村いきいきプロジェクト」の(5)に関する事項	多賀町では、児童数が減少傾向の小学校があるが、小学校の廃校は周辺集落の衰退に拍車をかけることから、小学校を核として地域と学校が密接に交流するとともに、ICTを活用した田舎でも全国標準の最適な学びの場の確保、高校卒業までの就学過程における通学支援と官民連携による高度な教育の提供など、周辺環境を活用した自然豊かな教育と学力向上を満足させることにより、子育て世代の移住促進につながることが期待される。	■小学校を核とした地域づくり 2部2-3-2.(3)①、3部3-5.(2)及び3-6.(1)①に趣旨は反映済みである。 ■ICT教育の推進 3部3-6.(5)①に「学校のICT環境の整備、学校と家庭がシームレスでつながる教育・学習環境の整備を推進し、ICT化による学校教育環境の構築を図り、個に応じた最適な学びを誰でも・いつでも・どこでも・安全安心に提供することができる、学習・教育クラウドプラットフォームの活用を推進する。」として趣旨を反映 ■高校までの就学過程における通学支援等 2部2-3-2.(2)⑤に「また、地方大学、専門学校等の魅力を向上させ進学を促進するとともに、地方大学や高等専門学校等、実践的な職業教育を行う高等教育機関が地元企業等と連携し、地域の未来を担う人材の育成と地元に着定する取組を推進する。」として趣旨を反映 ■子育て世代の移住促進 3部3-6(5)⑥に主旨は反映済みである。
5	滋賀県	多賀町	3	駅を核としたエリアに居住機能を集約させた「小さな拠点」を形成し、府県や地域間を結ぶネットワークと繋がることにより地方の活力の維持・向上を図る。	28 29	14	「⑥農山漁村いきいきプロジェクト」の(1)および(2)に関する事項	多賀町では、多賀大社前駅を中心とする中心市街地に生活サービス機能を集約させた「小さな拠点」を形成し、それを起点とした周辺集落との公共交通ネットワークの構築、鉄道を利用した近隣地方都市とのネットワーク化などの計画を進めています。 この計画を推進することにより、公共交通を利用した高齢者や子供などの交通弱者に優しい町の形成が図られ、世代に関係なく中山間地域の生活サービス水準の維持が図られ、安心安全の町として都市部からの人口流入に資する取り組みである。	2部2-3-2.(3)①、②、3部3-6.(1)①、(2)①及び②に趣旨は反映済みである。

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
6	大阪府	河内長野市 外(富田林市、河南町、大阪狭山市、松原市、太子町、千早赤阪村)	1	大阪ベイエリア地域と高規格幹線道路などによる内陸部との交流・連携の強化を図り、未整備エリアの解消による人口減少都市の活性化に資する大阪圏の交通の流れを抜本的に変える道路の整備を推進する。	P18	PTNo 1.	「関西ゲートウェイ＋ネットワークプロジェクト」の高規格幹線道路などによる道路ネットワーク整備事業に関する事項	河内長野市、富田林市などの大阪南部地域においては、高規格幹線道路の整備が喫緊の課題となっている。大阪外環状線及び国道310号を含む大阪南部の交通負荷を軽減し、関西国際空港へのアクセスを強化することにより人材の交流と物流の効率化に資する道路整備の推進が必要である。 更に紀伊半島を縦断する国道168号や169号、309号から大阪都心部や関西国際空港へのアクセス強化も急務であり、大阪南部地域から紀伊半島南部地域に至る広域的な観点から重点的に高規格幹線道路を整備推進されることにより、物流の効率化のみならず観光振興及び防災対策としての効果も大いに高まることが期待される。	2部2-1-2. (2)④及び2-3-2(1)③に趣旨は反映済みである。
7	奈良県	十津川村	1	『世界文化遺産や日本遺産、国宝に加え、』の次に 『 <u>世界遺産に登録されている「紀伊山地の霊場と参詣道」</u> 』を加える	23	③	「歴史・文化・おもてなしプロジェクト」の観光ネットワーク強化・形成事業に関する事項	奈良県十津川村においては、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」をPRした観光客の誘致が喫緊の課題となっており、大阪府泉南市、和歌山県田辺市と連携して、外国人観光客に紀伊半島地域を周遊してもらうための取組を進めている。こうした取組が広域の観点から重点的に推進されることにより、外国人観光客の誘客効果が高まることが期待される。	2部2-2-2. (2)②に趣旨は反映済みである。 3部3-3. (2)①に趣旨は反映済みである。

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
8	奈良県	十津川村	2	『災害時には「命の道」となる高速道路ネットワークの構築や』 の次に 『 <u>紀伊半島アンカールートの整備</u> 』 を加える	32	⑦	「関西強靱化・防災連携プロジェクト」の命の道などの整備事業に関する事項	奈良県十津川村においては、災害による通行止めが多発し、狭隘な国道の整備が喫緊の課題となっており、「国道168号」の早期整備に向けた取組を進めている。「国道168号」や「国道169号」、「京奈和自動車道」、「近畿自動車道紀勢線」をつなぐ「紀伊半島アンカールート」の整備に向けた取り組みが広域の観点から重点的に推進されることにより、医療や防災機能、紀伊半島地域への観光客誘客の効果が高まることが期待される。	3部3-7. (4)①に「「命の道」となる紀伊半島のアンカールートを構成する近畿自動車道紀勢線や五條新宮道路等の整備を推進し、緊急物資の集積拠点となる港湾の太平洋側・日本海側2面活用を見据えた機能強化により、応急復旧対策のための多重性、代替性を備えた輸送ルートを確保する。」として趣旨を反映 観光客の誘致については、3-3. (2)①に主旨は反映済みである。
9	滋賀県	東近江市	1	国道8号の渋滞解消とバイパスの早期整備について	11	1	「関西ゲートウェイ+ネットワークプロジェクト」に関する事項	国道8号は県の南北をつなぐ大動脈であり、本市にとっても地域内外をつなぐ重要な役割を果たしている道路である。特に、東近江市、近江八幡市、愛荘町の区間については、狭隘力所もあり渋滞が頻繁に発生している。この道路が整備されることで、東海地区や中部地区からのアクセスがよくなり、本県の発展、ひいては近畿圏域の発展につかがることが期待される。	2部2-3-2. (2)②に趣旨は反映済みである。

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
10	滋賀県	東近江市	2	国道421号未整備区間の整備促進について	11	1	「関西ゲートウェイ+ネットワークプロジェクト」に関する事項	国道421号は中部地区と滋賀県をつなぐ重要な道路であり、鈴鹿山脈を石樽トンネルが貫いてからは、交通量が激増している。しかし、永源寺ダム湖周辺は狭隘力所も多く、大型車の離合が困難な状況も発生している。この道路が整備されることで、中部地区からのアクセスが格段によくなり、本県の発展、ひいては近畿圏域の発展につながることが期待される。	2部2-3-2. (2)②に趣旨は反映済みである。
11	兵庫県	神河町	1	4行目 ～明日香、 <u>ユネスコ未来遺産登録の銀の馬車道</u> など、～	2頁 (1)			銀の馬車道は、生野銀山～姫路港49kmをつなぐ日本最初的高速産業道路として整備されたもので、日本遺産登録に向け、兵庫県、沿線市町で取り組みを進めているもので、是非掲載を望みます。	2部2-2-2. (1)③に「銀の馬車道」や「鉱石の道」など日本の近代化に貢献した産業遺産や、関西に幅広く分布する今のところ著名ではない伝統文化や歴史資産を発掘して育み、圏域の財産とするとともに、住みたいところが行きたいところとの観点にも立って、長い歴史が生み育てた関西ならではの現代建築や都市美、夜景、水辺空間、地域の食文化、芸能等、「関西の今」の観光資源も発掘、活用する。また、文化価値の高い歴史的建造物の修復や文化財の保存技術を継承する人材育成を行う。」として趣旨を反映
12	兵庫県	神河町	2	(3)過疎化する集落の維持・再生 ③古民家や <u>空き家の再生・利活用</u> 、	29 ③⑤			兵庫県では古民家は築50年以上の伝統的木造軸組工法で鉄製の釘等を用いない建造物と定義されており、古民家とだけ記載してしまうと、通常 の空き家は該当しない。 当町においては、空き家を「地域の宝」として捉え、積極的に再生・利活用し、移住を促進しており、地方創生総合戦略にも位置づけ継続して取り組みを進めていくこととしているため、追記をお願いします。	2部2-3-2. (3)③に「新規就農や田舎暮らしを促す古民家や空き家の再生・利活用、二地域居住やグリーンツーリズム、また、地域の実情に応じたまちづくりの観点からの地域活性化に資する土地利用の促進等を通じて過疎地域と都市との共生・対流を促進するとともに、こうした機会を契機とした移住・定住の促進により持続可能な地域社会を構築し、農山漁村の活性化を図る取組を推進する。」として趣旨を反映

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
13	兵庫県	神河町	3	農山漁村における <u>空き家・空き店舗などを活用した起業</u> を推進する取組みを		15頁 ⑥(3) ③		当町の地方創生においては都市部で人気のレストランなどのシェフが空き家等を活用して起業してもらうような施策を検討している。 当町のような中山間地域においては、市場原理に任せていてはこのような起業は望めるものではなく、田舎の空き家を活用した起業を誘導するような何らかの公的支援が必要であり、これを裏付ける国の積極的な支援をお願いしたい。	3部3-6.(3)③に「京阪神都市圏や地方都市と農山漁村が比較的近接した関西の特徴を踏まえ、「道の駅」「丹後王国」「食のみやこ」での「丹後・食の王国」や「海の京都」構想と連動した「丹後の食」の取組など、都市と農山漁村双方の需要を円滑に結び付け、農山漁村における空き家・空き店舗などを活用した起業の取組を支援する。」として趣旨を反映
14	滋賀県	彦根市	1	地域住民の高齢化や人口減少による歴史的まちなみへの影響と歴史的建造物の老朽化への対応を推進すること	22	③	「歴史・文化・おもてなしプロジェクト」の歴史・伝統文化の継承・活用と新たな地域資源の発掘・育成事業に関する事項	彦根市では、旧城下町に居住されている方の高齢化と人口減少により、中心市街地の衰退が顕著である。また、歴史的まちなみを形成する町家が空き家化することにより、日常の維持・管理が滞り、老朽化が急速に進み解体されることが課題となっている。 この課題に対して、空き家となっている町家について、活用したい方へ仲介をする町家バンクを産・官・学連携による取り組みを進めている。さらに、文化庁の歴史遺産を活用した地域活性化事業の補助制度を活用し、NPO団体等による実行委員会により、市指定文化財建造物の活用とその周辺にある町家の公開などの活用の取り組みも併せて進めている。 こうした取り組みが広域の観点から推進されることにより、町家(歴史的建造物)物件の価値が評価されるとともに、これらの情報を広く周知する効果が期待される。	2部2-2-2.(1)②に趣旨は反映済みである。

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
15	奈良県	橿原市	1	南海トラフ巨大地震・紀伊半島大水害等の救援拠点に関する取組を重点的に推進すること	32	7	南海トラフ巨大地震等への備え	近い将来危惧される南海トラフ巨大地震が発生した場合、紀伊半島の沿岸部では壊滅的な被害が想定される。救援活動を戦略的に展開するための中継拠点が必要であり、紀伊半島の玄関口に位置し、当該地震の被害も比較的軽微であると想定される奈良県中南和地域はその位置関係や阪和・京奈和自動車道等アクセスの良さなど陸路の中継拠点として最適の立地であると考え。	2部2-4-2. (1)⑤に「応急対策、復旧対策のため多重性、代替性を備えた陸・海・空の輸送ルートを確認する。この際、「国土交通省 南海トラフ巨大地震対策計画 近畿地方 地域対策計画(案)(平成26年4月)」を踏まえて、基幹的広域防災拠点の活用や、「道の駅」やSA、PA等、既存施設を防災拠点として最大限活用する。」として趣旨を反映 3部3-7. (4)②に「また、避難空地、延焼防止に有効な道路、都市公園・広場の整備を促進するとともに、応援ヘリコプターの受け入れを行うヘリ駐機場、物資の中継基地、応援部隊の駐屯・活動の拠点となる堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点の機能強化を図る。」として趣旨を反映
16	奈良県	橿原市	2	リニア中央新幹線の「奈良市付近」の駅位置及び三重・奈良ルートの早期確定に関する取組を重点的に推進すること	9	1	1-3. 関西を取り巻く現状と課題 (2)関西の相対的地位の低下と東京一極集中からの脱却	奈良県においては、昭和54年に中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会が早期建設と県内への停車駅設置を図ることを目的に設立された。平成26年10月には東京・名古屋間の工事実施計画が認可され、12月には工事が着工されたが、名古屋・大阪間では、駅位置やルートが絞り込まれていない。名古屋より東側の各県では、駅位置やルートが絞り込まれたことにより、駅周辺のまちづくりを進めるに当たっての検討が進んでいるが、名古屋より西側の各県では駅位置やルートが確定しておらず、検討すら進められない状況である。「奈良市付近」の駅位置及び三重・奈良ルートの早期確定が喫緊の課題となっており、こうした取組が広域の観点から重点的に推進されることにより、地域全体の発展が期待される。	はじめに(計画の意義)、2部2-1-2. (2)①及び③に主旨は反映済みである。

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
17	滋賀県	湖南市	1	内陸部における国際物流拠点整備に関する取組を重点的に推進すること	20 21 32		「(2)国内外のネットワーク機能の強化による対流促進」の②④⑥⑦に関する事項 「(1)南海トラフ巨大地震等への備え」の⑤に関する事項 「関西ゲートウェイ+ネットワークプロジェクト」の(2)関西国際空港の機能強化事業および(3)阪神港(神戸港・大阪港)の国際競争力強化事業に関する事項 「関西強靱化・防災連携プロジェクト」の(4)「命の道」などの整備事業に関する事項	湖南市においては、平成24年11月より国、県、県内産業団体、運輸団体などの参画のもと「湖南市内陸型国際総合物流ターミナル研究会」を設置し、国際貨物の輸送効率化や最適化を図るためのインランドポートの整備に向けた調査検討を行い、平成27年3月に基本計画を取りまとめ、早期事業化に向けた取り組みを精力的に推進しているところである。 本市は、近畿圏、中部圏、北陸圏などの経済圏やその周辺にある国際コンテナ港湾や主要港湾、国際空港などと100km圏内に位置しており、近年、新名神高速道路や国道1号バイパスの整備により更なるアクセス向上が図られ有利な立地環境にある。また、臨海部と比較して比較的災害リスクの少ない特性を有しており、既往災害も非常に少ない地域である。これらの地理的優位性を活かすとともに、モノづくり地域として我が国の産業を牽引してきた関西有数の産業集積基盤の更なる活性化と国際競争力の強化への支援などを目指して、地域産業の発展はもとより関西地域全体の地方創生の起爆剤となるべく取り組んでいるところである。 よって、本構想が広域の観点から重点的に推進されることにより、関西地域のもつポテンシャルの最大化が図られるものであり、中間整理などに掲げられるスーパーメガリージョンの一翼としてのモノの対流促進や日本海側と太平洋側を結ぶネットワーク形成、港湾や空港における国際物流機能の強化・基幹航路奪還への支援、南海トラフ巨大地震などへの備えとしての代替性のある緊急輸送ルートの確保などに資することが期待されるものである。	2部2-1-2. (2)④に「日本海側・太平洋側諸港の機能強化を行い、道路ネットワークとの接続を強化するとともに、物流業界の労働力不足対策にも資する物流の効率化として、内陸コンテナターミナルの活用等による海上コンテナの往復利用(ラウンドユース)を促す。」として趣旨を反映 3部3-1. (4)の項目名に「国際拠点港湾や重要港湾、内陸拠点等の整備推進事業」として趣旨を反映 3部3-1. (4)②に「滋賀県の内陸コンテナターミナルなどを活用した海上コンテナの往復利用(ラウンドユース)を図る。」として趣旨を反映
18	京都府	京丹後市	1	日本海側の対流を促進する上で、北陸新幹線は必要不可欠な高速鉄道であることから、 <u>京都府北部地域への延伸も視野に入れ、着工区間の着実な整備を目指す。</u>	22	1	「関西ゲートウェイ+ネットワークプロジェクト」の(2)国内外のネットワーク機能の強化による対流促進④に関する事項	京都府北部7市町においては、公共交通ネットワークの高度化が喫緊の課題となっており、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会で圏域全体の経済成長に向けた取組を進めている。こうした取組を進めている圏域へ新幹線が延伸されることにより、発展の後押しが期待される。	2部2-1-2. (2)④に趣旨は反映済みである。

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
19	奈良県	上北山村	1	南海トラフ大地震への対応			国道168号・169号によるアンカールート ¹ の整備	近い将来発生すると懸念されている南海トラフ大地震により、紀伊半島沿岸部に想像を絶する大災害が発生し沿岸部道路網が被災した場合、京阪神と紀伊半島沿岸部を結ぶ緊急輸送道路は、国道168号と国道169号である。これら国道は、紀伊半島アンカールートとしての整備の必要性・緊急性・重要性は、今年7月、土砂災害により国道168号十津川村桑畑地区で2ヶ月もの間通行止めとなった事により再認識された。又、これら国道整備は京阪神と紀伊半島東部地域との広域的な経済・産業・物流・観光・文化等の地方と都市との交流強化に繋がり、公共交通機関の無い紀伊半島内陸部の活性化には必要不可欠であり、広域ネットワーク道路網の整備は急務である。	3部3-7. (4)①に「命の道」となる紀伊半島のアンカールートを構成する近畿自動車道紀勢線や五條新宮道路等の整備を推進し、緊急物資の集積拠点となる港湾の太平洋側・日本海側2面活用を見据えた機能強化により、応急復旧対策のための多重性、代替性を備えた輸送ルートを確保する。」として趣旨を反映
20	大阪府	熊取町	1	ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の早期実用化に向けた取組を重点的に推進すること	19	②	「関西成長エンジンプロジェクト」の医療イノベーションによる健康・医療産業の成長エンジン化事業に関する事項	熊取町においては、「原子炉による実験及びこれに関する研究を行う」ことを目的に開設された京都大学原子炉実験所が所在。同実験所の研究で、とりわけ特徴的で特に大きな成果を上げているのが、中性子を医療(がん治療)へ応用した「ホウ素中性子捕捉療法(通称:BNCT)」の研究。また、本町では、同実験所の学際的研究分野にかかる研究成果ついて、地域社会や産業に還元する仕組みを構築し、もって、原子力の平和的利用と国民の理解の促進に役立てることを目的とした「熊取アトムサイエンスパーク構想」を京都大学や大阪府とともに取りまとめ、その推進に努めているところ。関西は、研究用原子炉を使用した臨床研究、加速器を使用した治験実施、薬剤開発、PET検査研究、専門人材育成などを行う機関が集積し、BNCT実用化にあたり高いポテンシャルを有するため、これらの取り組みを一層促進させることにより、関西圏における先端がん医療や産業イノベーションなどを実現する拠点が形成され、我が国の成長を牽引する次世代産業が、健康・医療産業の分野で創出されることが期待される。	3部3-2. (1)②に「拠点間の交流・連携を図り「放射光とスーパーコンピュータ京によるシミュレーション技術を組み合わせた革新的な創薬開発の実施」、「イメージング技術を活用した創薬の効率化」、「再生医療・細胞治療等の早期実用化」、「PMDA関西支部の機能強化の整備及び治験センター機能の創設」などの医薬品開発や先端医療技術の確立について、産学官が連携して進める。さらに、「関西健康・医療創生会議」などを設立し、医療イノベーションの創出を図る。」として趣旨を反映

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
21	大阪府	大東市	1	【取組の視点に関する意見】 大都市圏と地方圏だけではなく、その中間にある大都市近郊都市の視点を含めていただきたい。 また、大都市近郊都市にふさわしいコンパクト＋ネットワークづくりを進めるため、都市機能等、生活機能の立地、誘導及び公共交通によるネットワーク化にあたり、当該市町村とその近隣自治体の連携を推進する視点も含めていただきたい。	P26 ～28	P9～ 13	・中間整理 「2－3－2(1)快適でくらしやすい都市環境の形成、(2)地方都市の再生」に関する事項 ・プロジェクト 「④京阪神燦々まちづくりプロジェクト、⑤地方都市活力アッププロジェクト」に関する事項	大東市などの大都市近郊都市と過疎化が進む都市とでは、地域特性が大きく異なり、一概に「大都市圏」、「地方都市」という括りで語るのが難しい。コンパクト＋ネットワークを標榜する際は、分けて考えるべきである。 また、大都市近郊都市においては、行政圏より、市民の生活圏が大きいため、生活者の目線に立ち、広域で都市機能等、生活機能の立地、誘導や公共交通によるネットワーク化を図る必要がある。一方で、都市間競争が激化している背景もあり、市町村単独での調整が困難であるため、国及び関西全体で広域連携を推進していく必要があると考えている。	2部2－3－2. (1)②に「また、大都市近郊の都市においては、都市機能や居住機能を各地域の拠点となる鉄道駅などの中心部等に誘導し、都心の持つ複合機能を再構築するまちづくり施策とともに、公共交通を中心とした人にやさしい持続可能な都市交通ネットワークの強化を図り、各都市が連携の下に成り立つ「コンパクト＋ネットワーク」の都市形成を推進する。」として趣旨を反映 3部. 3－5. (3)①に「府県や地域間を越えた道路ネットワークを構築する大阪橋本道路、甲賀湖南道路、琵琶湖西縦貫道路、東播丹波連絡道路、東播磨南北道路等や、スマートICの整備を推進することで、地方都市間の連携強化や京阪神都市圏などとのネットワーク強化を図る。」として趣旨を反映

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
22	兵庫県	猪名川町	1	農業を活かした雇用拡大による産業、観光振興に関する取り組みを重点的に推進すること	14	6	「農山漁村いきいきプロジェクト」の小さな拠点の形成事業並びに農山漁村をいきいきさせるネットワーク形成事業に関する事項	猪名川町においては、地域創生の取り組みの柱として就業機会の創出と交流の促進の取り組みを進めることとしています。町内にある「道の駅いながわ」は、道路情報の案内、ドライバーの休息施設だけでなく、地元農産物の直売所や、町の特産品であるそばを味わえる人気のスポットとして町内随一の集客施設となっています。こうした集客力のある施設を核として、町内の課題である農業振興(耕作放棄地の解消、担い手の育成など)を図りながら、収穫された農産物を活かした6次産業施設の併設、あるいは新たな観光資源としての観光農園や体験農園、また農業を核とした雇用、産業機会を創出していくことで、農業訓練と一体的な障害者雇用の場の提供、定年後の人などを対象とした生きがいつくりとしての農業体験などを集約化することで相互の機能を相乗的に発揮し、“農業”をキーワードとした産業、観光施策を重点的に取り組むことで町の賑わい、活性化が期待できます。農業に関連する複合施設として農業を体験し、味わい、楽しむ、経営する全てのことができる施設として、本町を代表する施設としてだけでなく、周辺からの集客効果や観光客の誘致効果など広域的な効果が期待できます。	2部2-3-2. (2)④、(3)①、3部3-3. (1)⑧及び3-6. (3)①に趣旨は反映済みである。

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
23	和歌山県	紀の川市	1	「京奈和関空連絡道路」の建設促進	17	9	都市・農山漁村交流圏の拡大に関する事項	京奈和自動車道紀の川I. Cと阪和自動車道上之郷I. Cを直結する自動車専用道路を建設する事により和歌山県北部のみならず内陸部の利便性と活性化が図れ、緊急時の根幹輸送道路ネットワークとしての機能が期待できる。	2部2-1-2. (2)①、④に趣旨は反映済みである。
24	兵庫県	新温泉町	1	高規格幹線道路及び地域高規格道路における未事業化区間等のミッシングリンクの解消整備に関する取組を重点的に推進すること	8 20 23	① ③	・人と物の流れを支える インフラ整備の遅れ ・国内外のネットワーク 機能の強化による対流 促進 ・広域観光・国際観光 の推進 ⇒①高規格幹線道路などによる道路ネットワーク整備事業及び③観光ネットワーク強化・形成 事業 に関する事項	新温泉町においては、人口減少の克服、地域経済の発展及び活力ある地域社会の形成が喫緊の課題となっており、本町が有する地域資源を積極的に活用した地域活性化の取り組みを進めており、なかでも、山陰海岸ジオパークを核とした京都府・兵庫県・鳥取県との連携による広域観光ルートの形成と道路ネットワーク整備を重点課題としています。 こうした取組が広域の観点から重点的に推進されることにより、都市部住民並びに海外旅行者等の当地域への流入促進が期待されます。 そのため、高規格幹線道路などの道路ネットワークの確保充実が必要不可欠であり、特に北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道(鳥取豊岡宮津自動車道)の未事業化区間等のミッシングリンクの早期解消とあわせ、山陰海岸ジオパークを活用した広域観光ネットワークの強化に必要な中国圏における各種高規格幹線道路等との早期完全接続に向けた取組を重点的に推進することを提案します。	2部2-1-2. (2)①及び④に趣旨は反映済みである。 3部3-1. (1)①に「高規格幹線道路などのうち、ミッシングリンクの解消を目指して 近畿自動車道名古屋神戸線(新名神高速道路)、中国横断自動車道姫路鳥取線、京奈和自動車道等の整備を推進し、圏域内外の対流促進を図る。」として趣旨を反映

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
25	兵庫県	新温泉町	2	高速バスストップ設置に関する取組を重点的に推進すること	8 20 30	① ⑤	・人と物の流れを支えるインフラ整備の遅れ ・国内外のネットワーク機能の強化による対流促進 ・広域観光・国際観光の推進 ・どこにいても基本的な生活サービスが享受できる環境の整備 ⇒①高規格幹線道路などによる道路ネットワーク整備事業及び⑤誰もがいきいきと住み続けられる地方のまちづくり事業に関する事項	新温泉町においては、本町が有する地域資源を活用した観光・交流の拡大による地域活性化を目指した取組を目指しています。 現在、但馬地域では、北近畿豊岡自動車道、山陰近畿自動車道などの高速道路網の整備に伴い、今後、但馬地域への利便性の高い高速バス網構築のため、高速バスストップの設置を目指しています。 こうした取組が広域の観点から重点的に推進されることにより、観光アクセスの向上による観光活性化、さらには京阪神方面への速達性の向上による但馬地域における若者の定住化及びU・Iターンの促進などの効果が期待されます。 そのため、特に、北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道における高速バスストップの設置に向けた取組を重点的に推進することを提案します。	2部2-3-2. (2)②に「人口減少化において活力ある経済生活圏を形成するため、地方都市間を結ぶ交通及び情報通信インフラの整備、スマートICの整備・活用等による高速道路の賢い活用、また、特に府県を越えた広域道路ネットワークの整備や「高速道路における乗合自動車停留所」(以下「高速バスストップ」という)の設置、海上交通ネットワークの活用により、……」として趣旨を反映。 3部3-5. (3)②に「地域間でのヒト・モノの移動が地域の隅々まで行き渡るよう、地域の移動ニーズを的確に把握し、幹線交通と地域内交通の連携を促進するとともに、高速バスストップの設置などによる地域公共交通の活性化及び再生を図る。」として趣旨を反映
26	兵庫県	姫路市	1	大阪から姫路に至る臨海部に集中する日本を代表する企業の製造拠点と国際物流拠点である阪神港等との物流効率向上のため、道路ネットワークの整備を推進する。	20	1	2-1. アジアのゲートウェイを担い、我が国の成長エンジンとなる圏域 2-1-2. 戦略 (2)国内外のネットワーク機能の強化による対流促進	大阪から姫路に至る臨海部は、日本を代表する企業の製造拠点が集積しており、国際物流拠点である阪神港とを結ぶ道路ネットワーク整備は、国際競争力の強化に寄与する我が国の成長に欠かせないものであるため。	3部3-1. (1)④に趣旨は反映済みである。

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
27	兵庫県	姫路市	3	(プロジェクト検討参考資料(プロジェクト骨子)【⑤地方都市活力アッププロジェクト】の主な取組内容(2)の後段) 具体的には、播磨圏域における広域観光やブランド振興、京都府北部地域における地方鉄道の再生の取組など、複数の市町村がネットワークの強化などにより連携することによって、より広域的な経済・生活圏域を形成し、活力ある経済社会を維持する連携中枢都市圏や定住自立圏等の形成・発展を図る。	—	5	【⑤地方都市活力アッププロジェクト】の(2)連携中枢都市圏などの形成事業	(2)前段が連携中枢都市圏制度の説明であるため、その具体例としては、連携中枢都市圏である播磨圏域の事例が適切であると考えたため。また、既存の連携中枢都市圏の取組を例として記載してイメージを具体化することは、現在、近畿に1つしかない連携中枢都市圏を近畿全域で形成・推進することに役立つと考えられるため。	3部3-5. (2)に「具体的には、兵庫県播磨地域における広域観光・ブランド振興などの事業や、京都府北部地域における北近畿タンゴ鉄道支援などの事業を複数の市町村が連携して行い、歴史的・文化的つながりなどにも配慮したヒト、モノ、情報ネットワークの確保と強化を図り、広域的な経済・生活圏域を形成し、活力ある経済社会を維持する連携中枢都市や定住自立等の圏域づくりを進める。」として趣旨を反映
28	奈良県	王寺町	1	大和川流域総合治水事業の推進	32	2	災害に強くしなやかな国土の構築	県境の亀の瀬地区の狭窄部によって大和川が堰き止められ、各支川が氾濫する典型的な内水被害の常襲地域となっています。 一昨年(平成25年)9月の台風18号時には、同観測所において、昭和57年8月水害時の水位を1cm上回る観測史上最高の9.12mを記録しており、過去2年間で観測史上1位と4位の水位を記録しました。 最近の異常気象など、いつ、何時豪雨災害に見舞われるかもしれません。住民の生命・財産を守るため、国において既に計画されている上流部(川西町、安堵町、斑鳩町)の100万tの直轄遊水地の整備は奈良県のみならず、下流域にあたる大阪府にとっても浸水被害を食い止める事業であり広域的に施策の効果が得られるものと考えます。 また、南海トラフ巨大地震(マグニチュード8から9規模で30年以内に60%から70%の確率で発生するといわれている)等に備え、亀の瀬周辺地域での河道閉塞など両府県の河川被害を減らすための抜本的な対策が必要です。	2部2-4-2. (2)③に趣旨は反映済みである。 3部3-7. (2)①に「新宮川水系、紀の川水系、大和川水系、淀川水系、由良川水系等において、流域特性や上下流バランスを考慮しながら、築堤や河道掘削等による流下能力の向上対策や堤防強化対策などを推進する。」として趣旨を反映

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
29	奈良県	王寺町	2	国道25号線改良事業の推進	26	1	快適で暮らしやすい都市環境の形成	国道25号線については、奈良県と大阪府を結ぶ重要な動脈の一つです。災害時には、府県間の物資輸送等で重要な役割を果たす路線となっています。 しかしながら、奈良県内の現状として斑鳩町三室交差点から王寺町本町1丁目交差点の区間については、恒常的な交通渋滞区間であり、また区間内には広域の中核的医療機関である奈良県西和医療センターや救急指定病院である恵王病院、また西和消防署があり、緊急車両の円滑な移動にも影響するなど、人の命にも関わる問題であります。 このように国道25号は両府県にとって重要な路線であり、4車線化に向け、改良を推進する必要があります。	2部2-3-2. (1)③に趣旨は反映済みである。 3部3-5. (3)①に趣旨は反映済みである。
30	兵庫県	香美町	1	北近畿豊岡自動車・山陰近畿自動車道の地域ハブに関すること	11	3	「③歴史・文化・おもてなしプロジェクト」	香美町は、町の重点施策のひとつとして「産業・観光の振興」の取組を進めており、その条件となる道路の高速化等アクセス整備は、施策を進めるうえで欠かせないものとなっている。着実に整備が進んでいる北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道等でのバスストップの設置は、町のバス交通の「ハブ」として誘客の効果が高まることが期待される。	2部2-2-2. (2)③及び2-3-2. (2)②に趣旨は反映済みである。 3部3-5. (3)②に「高速バスストップの設置などによる地域公共交通の活性化及び再生を図る。」として趣旨を反映

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
31	兵庫県	香美町	2	県境を越えた日本一の海幸・山幸回廊づくり	7 or 11	3 or 5	「③歴史・文化・おもてなしプロジェクト」 「⑤地方都市活力アッププロジェクト」	鳥取県東部(鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町)及び兵庫県北但西部(香美町、新温泉町)では、圏域内住民はもとより、圏域外の人も含めた新たな交流や移住定住者の積極的な受入れ等によるにぎわいを創出する取組を進めている。豊富な地域資源を活用し、関連団体との連携を密にしながら、「点」ではなく「面」として固有の風土を生かした広域周遊観光圏を形成し、今後のDMO創設の基盤づくりを進めることとしている。ファン獲得と魅力ある圏域づくりを行い、県境を越えた広域連携による圏域への誘客、定住促進につながるものである。	2部2-2-2. (2)②に趣旨は反映済みである。 3部3-3. (2)③に「鳥取県東部及び兵庫県北但(ほくたん)西部の1市6町で構成する麒麟(きりん)のまち創生戦略会議による「県境を越えた日本一の海幸・山幸回廊づくり」などの取組により、日本版DMO(Destination Management Organization/ Destination Marketing Organization)創設に向けた基盤づくりを促し、地域固有の豊富な資源を面的に活用する広域周遊観光圏の形成を促進する。」として趣旨を反映
32	大阪府	松原市	1	複数の都市を結ぶ幹線道路に関する取組を重点的に推進すること	20	①	「関西ゲートウェイ+ネットワークプロジェクト」の(1)高規格幹線道路などによる道路ネットワーク整備事業に関する事項	松原市の天美地区で計画されている大規模複合型商業施設を含むまちづくりは、隣接する大阪市をはじめ周辺都市を含めて商圏としているが、円滑な交通処理が喫緊の課題となっている。計画地に接する都市計画道路「大阪河内長野線」は暫定的に整備されているが大阪市へ接続する区間は事業未着手となっていることから、事業者である大阪府へ事業化を要望している。こうした取組が広域の観点から重点的に推進されることにより、都市間の道路ネットワークが高まり地方都市の活性化が期待される。	2部2-1-2. (2)④及び3部3-5. (3)①に趣旨は反映済みである。

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
33	兵庫県	丹波市	1	都市と農山漁村を結ぶ「地域高規格道路の整備」を推進し、中山間地域の通勤圏域の拡大・都市との連携強化を重点的に推進すること	29	6	「農山漁村いきいきプロジェクト」の(2)農山漁村をいきいきさせるネットワーク形成事業に関する事項	丹波市をはじめとした農山漁村にとって、人口減少が喫緊の課題となっており、移住・定住の取組を進めているが、農山漁村における新たな雇用の創出は容易ではなく、人口減少に拍車をかけている。 東播丹波連絡道路をはじめとした地域高規格道路の整備は、農山漁村の日常生活圏を拡大するだけでなく、新たな雇用の創出にも寄与することとなる。 広域的な観点から見ても、中山間地域をはじめとした農山漁村の人口減少は顕著であり、地域高規格道路の整備は、通勤圏域の拡大や都市と農山漁村との連帯の強化による地域集積圏の拡大を図り、交流人口の増大とともに都市から地方への移住を促進する効果が高まることで、近畿圏域全体の底上げにつながる事が期待される。	2部2-3-2. (2)②、(3)②及び3部3-5. (3)①に趣旨は反映済みである。
34	和歌山県	橋本市	1	南海トラフ地震などの大規模災害に対し、広域的な連携を図り防災機能を効果的に発揮するため、被害が比較的低いと想定される地域に、新たな防災の拠点整備と道路ネットワークの構築を行う。	18	⑦	関西強靱化・防災連携プロジェクトの「命の道」の整備事業	南海トラフ地震などの発生確率が高く、また広い範囲での被害が想定されることから、巨大地震への対応が喫緊の課題となっている。地震発生時、南海トラフ等の断層帯から一定の距離を有しており、比較的被害が小さいと想定される近隣地域から、後方支援を実施できる体制づくりが必要である。こうした防災拠点整備と、大きな被害を受けると想定される和歌山県と大阪湾岸部を結ぶ道路ネットワークの整備を広域的に推し進めることで、大規模災害に対し効果的な後方支援が期待出来る。	2部2-4-2. (1)⑤に「応急対策、復旧対策のため多重性、代替性を備えた陸・海・空の輸送ルートを確保する。この際、「国土交通省 南海トラフ巨大地震対策計画 近畿地方 地域対策計画(案)(平成26年4月)」を踏まえて、基幹的広域防災拠点の活用や、「道の駅」やSA、PA等、既存施設を防災拠点として最大限活用する。」として趣旨を反映 3部3-7. (4)②に趣旨は反映済みである。

【取扱注意】

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
35	兵庫県	豊岡市	1	実践的な職業教育を行う高等教育機関を設置 を検討すること	29	5	「地方都市活力アッププ ロジェクト」の「地域に定 着し地域の未来を担う 人材の育成」に関する 事項	大学進学等により若者が都市部に流出している 地方都市にとって、地域産業を担う高度な専門的 職業人材の育成や地元企業に就職する若者を増 やす等大きな効果が期待される。【※文部科学大 臣からの諮問を受け、中央教育審議会の特別部 会で審議中】	2部2-3-2. (2)⑤に「また、地方大学、専門学 校等の魅力を向上させ進学を促進するとともに、 地方大学や高等専門学校等、実践的な職業教育 を行う高等教育機関が地元企業等と連携し、地 域の未来を担う人材の育成と地元に着する取 組を推進する。」として趣旨を反映

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
36	奈良県	桜井市	1	ネットワーク型のコンパクトな都市づくりに関する取組を重点的に推進すること	29	⑤	地方都市活力プロジェクト	桜井市においては、今後の人口減少に対応したまちの姿を形成するため、ネットワーク型のコンパクトな都市づくりを目指しています。このため、立地適正化計画の策定と共に、ネットワークを中山間地まで拡大し、「小さな拠点」の整備も含め市域全体のまちづくりの検討を行っています。これらの取組を近畿圏という大きな枠組みで重点的に推進することで、都市圏と農山漁村それぞれを「小さな拠点」とする大きなネットワークを形成することができます。このことにより、近畿圏内でヒト・モノ・情報の対流を促進させるだけでなく、地域の文化や技術、観光資源が交流することにより、活力があり持続可能な経済生活圏を形成することが期待できます。	2部2-3-2. (1)②、(2)①、(3)①、3部3-5. (1)①及び(2)に趣旨は反映済みである。
37	兵庫県	姫路市	2	②…切り捨てにつながることのないよう、緊急時に必要な道路ネットワークの整備やコミュニティバスの運行、 <u>離島航路の維持運営支援</u> 、ICTの活用による交通・情報ネットワークの強化…	29	6	2-3. 快適で豊かに生き生きと暮らせる圏域 2-3-2. 戦略 (3)過疎化する集落の維持・再生	中山間地等には離島も包括されており、戦略には離島航路維持の支援が必要であるため。	2部2-3-2. (4)②に趣旨は反映済みである。

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
38	和歌山県	和歌山市	1	関西国際空港や大阪湾バイエリアと和歌山北部地域間の連携を支える第二阪和国道と関西各都市を連携する大環状道路である京奈和自動車道を接続することにより、物流・産業活性化を図り地方創生に寄与する新たな道路ネットワークを構築する。	20	①	国内外のネットワーク機能の強化による対流促進	京奈和自動車道と第二阪和国道を接続することで、関西空港や大阪バイエリアと関西大環状道路を和歌山市を中心とし有機的に連携されることで新たな道路交通ネットワークが構築され物流・産業が活性化されることで関西南部地域の地方創生に寄与する。	2部2-1-2. (2)④及び⑦に趣旨は反映済みである。 3部3-1. (1)①に「関西の経済・産業などの社会活動の基盤となる高規格幹線道路などのうち、ミッシングリンクの解消を目指して近畿自動車道名古屋神戸線(新名神高速道路)、中国横断自動車道姫路鳥取線、京奈和自動車道等の整備を推進し、圏域内外の対流促進を図る。」として趣旨を反映 3部3-1. (1)②に「地域の自立的発展や地域間の連携を支える道路として、鳥取豊岡宮津自動車道(山陰近畿自動車道)、第二阪和国道等の整備を推進し、地域の対流促進を図る。」として趣旨を反映
39	和歌山県	和歌山市	2	USJなどと一体となって楽しむことができる総合的な観光施設の整備 → <u>地方都市を含めた近畿圏全域に波及効果がある総合的な観光施設の整備</u>	25		(2)広域観光・国際観光の推進 ⑧	USJといった大規模レジャー施設だけでなく、地方都市を含めた近畿圏全域に波及効果がある観光施設の整備を進める。	2部2-2-2. (2)⑧に「臨海部の魅力を更に高めるため、例えばテーマパークなど一体となって楽しむことができる総合的な観光施設の整備を検討していく。また、臨海部に集積するMICE施設等を活かし、ビジネス客や観光客の長期滞在を可能とする国際化に合わせた多様な宿泊施設を確保し、新たな広域観光拠点の形成を目指す。」として趣旨を反映

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
40	和歌山県	和歌山市	3	都市機能が集積するゼロメートル地帯における浸水対策 → 都市機能が集積する地帯における浸水対策	31		(1)南海トラフ巨大地震等への備え ③	ゼロメートル地帯に限定することなく、浸水対策を実施することで被害を都市機能の被害を最小限に抑制する。 また、⑦関西強靱化・防災連携プロジェクトでは、浸水対策はゼロメートル地帯に限定されていないため、プロジェクトと整合を取る必要がある。	2部2-4-2. (1)①及び③に趣旨は反映済みである。
41	和歌山県	和歌山市	4	紀の川水系の治水能力の向上	32	⑦	(2)災害に強くしなやかな国土の構築 ③ ⑦関西強靱化・防災連携プロジェクト(2)洪水・高潮などの水害・土砂災害対策事業に関する事項	紀の川水系の治水能力の向上を図ることにより、紀の川流域の住民の安全で安心できる暮らしを確保する。	2部2-4-2. (2)③に趣旨は反映済みである。 3部3-7. (2)①に「新宮川水系、紀の川水系、大和川水系、淀川水系、由良川水系等において、流域特性や上下流バランスを考慮しながら、築堤や河道掘削等による流下能力の向上対策や堤防強化対策などを推進する。」として趣旨を反映

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
42	和歌山県	和歌山市	5	②奈良や京都の由緒ある神社仏閣、徳川御三家のお膝元である和歌山周辺の文化財、港町神戸の街並みなど関西の地域がそれぞれ独自の歴史、文化、自然を活かし、観光を通じた交流や連携を促進させることにより、地域活性化を図る。		③	③歴史・文化・おもてなしプロジェクト(1)歴史・伝統文化の継承・活用と新たな地域資源の発掘・育成事業」、(2)観光ネットワーク強化・形成事業に関する事項	和歌山市は、江戸時代に将軍家を支えた御三家の一つである紀州徳川家のお膝元であり、徳川家に関係する文化財を多数有している。これらの観光資源を広域の観点から重点的に推進することにより、関西圏における広域観光ネットワークの形成促進の効果が高まることが期待される。	3部3-3. (1)②に「奈良市周辺、京都市周辺の文化財や景観、港町神戸のまちなみ、また和歌山市の紀州徳川家関連文化財など、各地域がそれぞれ独自の歴史、文化、自然を活かし、観光を通じた交流や連携を促進させることにより、地域活性化を図る。」として趣旨を反映
43	和歌山県	和歌山市	6	和歌山県から大阪府に及ぶ日本古来の山岳信仰である葛城修験の道二十八箇所を結ぶ広域観光ルートを強化・形成し、国内外からの誘客を図る。		③	③歴史・文化・おもてなしプロジェクト(2)観光ネットワーク強化・形成事業に関する事項	これまで、観光資源としてあまり知られていなかった、日本古来の山岳信仰である葛城修験道(起点は友ヶ島虎島)について、広域観光ネットワークを強化・形成し、PRすることで、国内外の観光客の誘客を図る。	3部3-3. (2)①に趣旨は反映済みである。

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
44	兵庫県	洲本市	1	②関西国際空港や阪神・淡路地域の港等の ゲートウェイと京阪神地域や観光拠点とのアク セス強化を図る道路や鉄道の整備に加え、 <u>関 西国際空港や大阪湾岸地域からの海路の充実 を図ることで、アジア・世界との人材交流を活性 化させる。</u>	20	①	「関西ゲートウェイ+ ネットワークプロジェク ト」の(2)関西国際空港 の機能強化事業	関西国際空港(大阪湾岸地域からの航路を含む) から淡路島への航路を復活させ、関西から四国 への流れをつくることで、広域観光圏の活力を喚 起させることが期待できる。	2部2-2-2. (2)③及び3部3-1. (2)②に趣 旨は反映済みである。
45	兵庫県	洲本市	2	②広域観光を実現するために、府県や圏域間 を結ぶ道路や港湾の整備を推進し、(後略)	24	③	「歴史・文化・おもてなし プロジェクト」の「(3)外 国人旅行者の受入環 境整備事業」に関する 事項	海外からの訪日客(インバウンド)を受け入れ、円 滑な移動を実現するためには、陸路に加え、海路 (航路)の整備・充実が不可欠であり、そのため には、寄港可能な港湾施設の整備が必要である。	2部2-2-2. (2)③に趣旨は反映済みである。 3部3-3. (3)②に趣旨は反映済みである。

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
46	兵庫県	洲本市	3	関西国際空港や阪神・淡路地域の港等のゲートウェイと京阪神地域や観光拠点とのアクセス強化を図る道路や鉄道の整備に加え、 <u>関西国際空港や大阪湾岸地域からの海路の充実を図ることで、アジア・世界との人材交流を活性化させる。</u> (再掲)	20	③	「歴史・文化・おもてなしプロジェクト」の「(4)関西国際空港などへのアクセス強化事業」に関する事項	関西国際空港(大阪湾岸地域からの航路を含む)から淡路島への航路を復活させ、関西から四国への流れをつくることで、広域観光圏の活力を喚起させることが期待できる。	2部2-2-2. (2)③に趣旨は反映済みである。 3部3-3. (4)①に趣旨は反映済みである。
47	京都府	城陽市	1	「近畿圏域の中央部に位置し、東西、南北の高速道路網が交差する京都府南部地域に基幹的な広域防災拠点を整備するとともに」を追記する。	33	ー	2-4-2戦略(1)南海トラフ巨大地震等への備え⑤6行目 ※また、防災機関と物流事業者・・・」の「また、」の次に追記する。	城陽市の東部丘陵地域には広大な山砂利採取跡地があることに鑑み、近畿圏の新たな国幹道路の要地となる当地に京阪奈の中央部における基幹的防災拠点の整備や国幹道路の整備を前提とした内陸部の新たな活性化等をはかることが期待されている。	2部2-4-2. (1)⑤に趣旨は反映済みである。

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
48	大阪府	岬町	1	③海上交通ネットワークの維持・充実 日常的な交流の活性化や地方におけるコミュニティー維持、さらには災害時における交通ネットワークのリダンダンシー向上のため、環状ネットワークの形成に資する基幹的航路の開設など、国内外の都市や港をつなぐフェリーをはじめとした海上交通ネットワークを維持・充実させる。		11	⑤地方都市活力アッププロジェクト(3)都市間を結ぶネットワーク強化事業	岬町は、かつて四国や淡路島と航路で結ばれ、人や物が行き交う交流港として活況を呈していた。しかし、平成13年に深日航路が全廃されたことに伴い、まちの活力は著しく低下し、岬町にとって深日港の活性化は喫緊の課題となっている。現在、岬町では大阪湾南部の観光交流の活性化や災害時における交通ネットワークのリダンダンシーの向上をめざし、鉄道インフラを併設している深日港を行政交流拠点として位置づけ、兵庫県洲本市との間で航路復活に向けた取組を進めている。このような海上交通ネットワークの維持・充実の取組が広域の観点から重点的に推進されれば、本町が取組む航路復活の機運の高まりが期待できる。	3部3-5.(3)②に「地域間でのヒト・モノの移動が地域の隅々まで行き渡るよう、地域の移動ニーズを的確に把握し、幹線交通と地域内交通の連携を促進するとともに、高速バスストップの設置などによる地域公共交通の活性化及び再生を図る。」として趣旨を反映
49	大阪府	岬町	2	みなとオアシスを核とした地域振興、観光振興にかかる取組の推進		10 11	④京阪神燦々まちづくりプロジェクト(4)京阪神まちづくり魅力向上事業 ⑤地方都市活力アッププロジェクト(4)関西の地方の強みを活かした地域産業活力アップ事業	みなとオアシスは地域にとって重要な観光資源のひとつであり、岬町ではみなとオアシスを通じた交流促進を強化している。本制度は港を有する自治体において地域活性化を進めるための重要な制度であるので、広域の計画でも引き続き取り上げていただきたい。	2部2-2-2.(2)⑤及び3部3-5.(4)④に趣旨は反映済みである。

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
50	大阪府 和歌山県	河内長野 市 外(橋 本市)	2	・災害時の被害想定が比較的少ない後背地から、甚大な被害が想定される湾岸部や都心部への効果的な後方支援を図るため、後方支援の拠点を新たに整備するとともに、湾岸部や他府県の防災の拠点と広域的に連携を図るため、必要な道路を整備する。	P32	7	関西強靱化・防災連携プロジェクトの「命の道」の整備事業	東南海・南海地震による津波被害に加え、上町断層帯による被害想定が高く、発生確率も高いことから、それらの巨大地震に対する対応が喫緊の課題となっている。それぞれの断層帯から一定の距離を有し、比較的被害想定が低い地域から後方支援が可能となる体制づくりが、岩手県遠野市の事例を見ても効果的であることから、その実現に向け検討を進めている。こうした効果性の高い防災の拠点整備と、被害想定の高い和歌山県と大阪湾岸部を結ぶ道路ネットワークの整備が広域の観点から重点的に推進されることにより、あらゆる被害に対し、効果的な後方支援が期待される。	2部2-4-2. (1)⑤に「関西の経済社会を支えるとともに、災害時には「命の道」となる高速道路ネットワークの構築や、海上輸送や航空輸送による緊急輸送を想定した港湾・空港機能等の強化など、応急対策、復旧対策のため多重性、代替性を備えた陸・海・空の輸送ルートを確認する。この際、「国土交通省 南海トラフ巨大地震対策計画 近畿地方 地域対策計画(案) (平成26年4月)」を踏まえて、基幹的防災拠点の活用や、「道の駅」やSA、PA等、既存施設を防災拠点として最大限活用する。」として趣旨を反映 3部3-7. (4)①に「災害時には「命の道」となる紀伊半島のアンカールートを構成する近畿自動車道紀勢線や五條新宮道路等の整備を推進し、緊急物資の集積拠点となる港湾の太平洋側・日本海側2面活用を見据えた機能強化により、応急復旧対策のための多重性、代替性を備えた輸送ルートを確認する。」として趣旨を反映 3部3-7. (4)②に「大規模災害発生時の備えとして、緊急輸送を円滑に行えるよう、広域幹線道路や緊急確保航路等の多重ネットワークを構築するとともに、緊急輸送道路等の避難路沿道建築物や緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強、緊急輸送道路と交差又は隣接して併走する鉄道施設の耐震化、耐震強化岸壁の整備、道路斜面や盛土等の防災対策及び倒壊による道路閉塞を回避するための無電柱化を推進する。また、避難空地、延焼防止に有効な道路、都市公園・広場の整備を促進するとともに、応援ヘリコプターの受け入れを行うヘリ駐機場、物資の中継基地、応援部隊の駐屯・活動の拠点となる堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点
51	奈良県	下北山村	1	自然災害リスクへの対応 観光ネットワークの強化・形成事業 (168号のことは記載されていて、169号ことは記載されていない)	11 33		国道168号・169号によるアンカールートの整備	近い将来発生すると懸念されている南海トラフ大地震により、紀伊半島沿岸部に想像を絶する大災害が発生し沿岸部道路網が被災した場合や大型台風等で、京阪神と紀伊半島沿岸部を結ぶ緊急輸送道路は、国道168号と国道169号である。これら国道は、紀伊半島アンカールートとしての整備の必要性・緊急性・重要性は、認識されています。又、これら国道整備は京阪神と紀伊半島東部地域との広域的な経済・産業・物流・観光・文化等の地方と都市との交流強化に繋がり、公共交通機関の無い紀伊半島内陸部の活性化には必要不可欠であり、広域ネットワーク道路網の整備は急務である。	2部2-4-2. (1)⑤に「関西の経済社会を支えるとともに、災害時には「命の道」となる高速道路ネットワークの構築や、海上輸送や航空輸送による緊急輸送を想定した港湾・空港機能等の強化など、応急対策、復旧対策のため多重性、代替性を備えた陸・海・空の輸送ルートを確認する。この際、「国土交通省 南海トラフ巨大地震対策計画 近畿地方 地域対策計画(案) (平成26年4月)」を踏まえて、基幹的防災拠点の活用や、「道の駅」やSA、PA等、既存施設を防災拠点として最大限活用する。」として趣旨を反映

関西広域地方計画に対する計画提案(受付順)

参考資料1

SEQ	都府県名	市町村名	提案 No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討 資料における関連箇所			計画提案の理由	計画提案の対処方法
					中間 整理 頁	PTNo	関連箇所		
52	兵庫県	朝来市	1	地域の歴史、伝統文化を掘り起し、地域の活性化を図る。	22	③	③歴史・文化・お、おてなしプロジェクト	当市においては、※1『銀の馬車道』と※2『鉱石の道』という明治維新後、外国人技術者を導入して、産業道路の建設や機械化を進めるなどの日本の近代化をけん引する役割を果たしてきた。この歴史的価値を顕在化させ、その資源を地域の活性化に役立てることを目的としたい。兵庫県の南北を結ぶ広域的な取り組みであり、地域の活性化に効果が期待される。	2部2-2-2. (1)③に「銀の馬車道」や「鉱石の道」など日本の近代化に貢献した産業遺産や、関西に幅広く分布する今のところ著名ではない伝統文化や歴史資産を発掘して育み、圏域の財産とするとともに、・・・」として趣旨を反映 3部3-3. (1)③に「世界遺産登録に向けた取組の推進や、日本遺産、近代化産業遺産の登録を通して文化財の保存・整備を図るとともに、観光資源として積極的に国内外への発信や活用を図る。」として趣旨を反映